

地域・社会とともに持続的な発展を目指して 日陸グループの災害地支援活動

「小さくともダイヤモンドの如く みんなの幸せを」という理念のもと、幅広い社会貢献活動に取り組んでいます。大規模災害発生時には、タンクコンテナを用いた給水活動など、自社の強みを活かした災害地支援を行っています。



西日本豪雨 (2018年6-7月)

愛媛県宇和島市に IBC ポリタンク 52 基を提供し、断水地域の給水拠点として活用されました。



東日本大震災 (2011年3月)

被災地への給水用 IBC の提供、漁船の無料搬送など当社業務を活かした被災地支援を実施し、その内容は TV・新聞で報道されました。



阪神・淡路大震災 (1995年1月)

神戸市および宝塚市において、タンクコンテナを使用し給水活動を行いました。



中国四川省大地震 (2008年5月)

タンクコンテナを使用した給水活動を行いました。中国当局より多大な感謝を受けるとともに、日本のマスコミでも大きく報道されました。

この他にも、従業員と会社が共同で実施するマッチング募金(ユニセフ等)、障がい者スポーツ支援、国内外拠点でのボランティア活動などを行っています。日陸グループは、これまでも、そしてこれからも、SDGs/ESG に配慮した企業活動で社会に貢献し続けます。

